

第5期障がい福祉計画に係る令和2年度実績要因分析結果

○県地活事業
<必須事業> (令和2年度実績でC,D評価となったもの)

事業名	進んでいない要因	県の対応
盲ろう者向け通訳・介助員養成研修	新型コロナウイルス感染の懸念から、例年より受講者数が下回ったことによる。	引き続き研修開催の周知に努めるほか、開催方法についても検討していく。
精神障害者地域生活支援広域調整事業(地域生活支援広域調整会議等事業)	新型コロナウイルス感染症予防のため、委託先の各圏域で協議会の開催が延期・中止となったことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指しつつ、Webで開催する等で協議の場が確保できるよう働きかける。
障害支援区分認定調査員研修	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、出席者を絞って実施したもの。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催報法や開催時期、募集期間等、研修対象者に配慮した開催に努める。
市町村審査会委員研修	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、出席者を絞って実施したもの。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催報法や開催時期、募集期間等、研修対象者に配慮した開催に努める。
相談支援従事者初任者研修	・相談支援事業所は、処遇改善加算の対象となっていないため、相談支援事業所単体での採算が合わないという意見がある等、研修受講の動機づけが図られにくい面があること。 ・新カリキュラムの研修時間が旧カリキュラムよりも2日間増加したことにより、受講生へ負担増となった。	・計画相談事業所が安定した運営を行うことができるよう、適切な報酬単価などが設定されるよう、国に対して報酬改正を要望していく。
相談支援従事者現任者研修	・相談支援事業所は、処遇改善加算の対象となっていないため、相談支援事業所単体での採算が合わないという意見がある等、研修受講の動機づけが図られにくい面があること。	・計画相談事業所が安定した運営を行うことができるよう、適切な報酬単価などが設定されるよう、国に対して報酬改正を要望していく。
強度行動援護従事者養成研修	平成30年度の報酬改正により、当該研修を修了した者が強度行動障害の方に対し支援を行った場合に加算が行われることとなったことから、対象の利用者がいる事業所については、既に研修を受講済みであり、対象者も急増しないことから受講者も増えていない。	引き続き強度行動障害に対する理解及び対象となる利用者が生じた際に備えた必要性や、研修開催についての周知に努めていく。

第5期障がい福祉計画に係る令和2年度実績要因分析結果

○県地活事業 (令和2年度実績でC,D評価となったもの)
 <任意事業>

事業名	進んでいない要因	県の対応
オスメイト社会適応訓練事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度の事業を中止としたことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。
音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度の事業を中止としたことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。
音声機能障がい者発声訓練事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月から令和3年2月までの期間、事業を中止したことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。
身体障がい者補助犬育成事業	関係団体や市町村などに積極的に周知を行ったものの、希望者と補助犬との相性などにより利用に至らなかった。	引き続き、給付について関係団体等に募集を行い、周知に努めていく。
芸術・文化活動振興事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の参集型の開催が出来ず、Web上に動画を掲載する形式に変更したことにより、開催回数、参加人数ともに計画を下回ったもの。 動画掲載団体は9団体で、視聴数は851回。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、従来通り参集型での開催を目指す。